

会員各位

2025 年 10 月 18 日（土）、横浜・はまぎんホール ヴィアマーレにて開催された「第 21 回 関東 MIST 研究会」は、全国から医師、コメディカルスタッフを含む 168 名の皆様にご参加いただき、盛況のうちに無事終了いたしました。

今回のテーマは「基本手技の再考と技術の継承」とさせていただきました。脊椎外科における低侵襲手術が多様化・高度化する中で、改めて頸椎から腰椎にわたる基本的手術を、第一線で活躍される先生方に解説していただきました。「頸椎椎弓形成術の真髄」（梅林猛先生）、「頸椎後方除圧術で知っておくべき筋の解剖 一白石法の実際」（北村和也先生）、「失敗しない MIS-TLIF」（湯浅将人先生）、「低侵襲胸腰移行部前方アプローチのコツ」（寺山星先生）、「PETLIF の基本術式とコツ」（笠場大介先生・長濱賢先生）、「UBE マスターへの道」（山屋誠司先生）、「L5/S1 前方固定を極める」（石原昌幸先生）、若手のみならず、ベテランの先生方にとっても、改めて基本の奥深さを実感できる内容となりました。

また、若手医師による一般演題、コメディカルセッションやハンズオンセミナーも開催させていただきました。いずれも活発な討論も行われ、QR コードを用いた投票により、一般演題部門では春陽会中央病院の関屋辰洋先生の「SCS の進化と地方脊椎外科医が始めた理由」、コメディカルセッション部門では 関西医科大学手術室の田渕奈々子さんの「脊椎手術における看護師教育の工夫」が、いずれもベストプレゼンテーションアワードを受賞されました。3つのハンズオンセミナー、UBE ナビゲーションは岩井整形外科内科の柳澤和芳先生、TSCP 経仙骨的脊柱管形成術は国際医療福祉大学成田病院の船尾陽生先生、コメディカルの NextAR を用いた PPS 固定術は船橋総合病院の小島敦先生に取りまわていただき、希望者が多く入りきれないほどでした。

特別講演 1 では、順天堂大学の野尻英俊先生に座長を務めていただき、日本医科大学の平尾眞先生による「脊椎→足、足→脊椎 二足歩行を全体で見る」では、ヒトの二足歩行は二足歩行における足の進化の意義が紹介していただきました。続いて京都府立医科大学の外村仁先生による「骨粗鬆症と脊椎治療」では、傍脊柱筋変性と脊椎外科治療の深い関わりについて最先端の知見をご講演いただきました。特別講演 2 では、日本医科大学の小野が座長を努めさせていただき、恩師である大森一生先生（日本鋼管病院）の「Mono-portal FES で失敗しないためのコツ」、そしてドイツ・St. Anna Hospital Herne の Dr. Martin Komp による「Full-Endoscopic Surgery: Evolution & Revolution」の公演が行われ、世界水準の全脊椎内視鏡学が貴重な機会となりました。関東 MIST の国際的なネットワークの広がりを実感する事ができたと確信しております。

場所を REVO BREWING に移して開催された「本音会」では、9種類のクラフトビールが飲み放題の恵まれた環境の中、活発な発表がおこなわれました。その中でも春陽会中央病院の寺山星先生による「FESS 導入の話」の話が、心地よく参加者のビール消費量を押し上げ表彰されました。世代や立場を超えた熱い議論が続き、関東 MIST コミュニティの一体感を感じることができました。今回の研究会が、参加者のみなさまの日頃の診療に少しでも役立つことができればとても嬉しく思います。

次回の第 22 回関東 MIST 研究会は、鳥越一郎先生（横浜市立みなと赤十字病院）が当番幹事として 2026 年 2 月 14 日に東京コンファレンスセンター・品川で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、第 21 回関東 MIST 研究会にご登壇いただいた先生方、多大なるご支援を頂いた共催企業の皆様、そして運営を支えてくれた日本医科大学脊椎チーム、そしてご参加くださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

第 21 回関東 MIST 研究会 当番世話人（会長）

日本医科大学整形外科・リウマチ外科

小野 孝一郎